

生活保護申請で見えたこと

派遣社員

(大阪府 54)

私と6年前からルームシェアを

していた59歳男性が、生活保護申

請をしました。読み書きが苦手な

「ディスレクシア」の特性を持

ち、ホームレス経験もあります。

一昨年にC型肝炎になり、昨秋ご

るから自力歩行がやっとに。今年

になってリウマチの診断も受け、

警備の仕事も続けられず、蓄えも

なく、医療費もままなりません。

1月、役所の生活保護窓口に行

くと、「本人名義で賃貸契約した

住所での申請を」と言われました。

ルームシェアのままでは同一世帯

とみなされ、世帯単位で適用され

る生活保護を受けるのは難しいと
のこと。要するにシェアを続ける
なら私が扶養をとらうのです。

仕方なく不動産屋に行く。「無

職で家賃は払えるか」「保証金上

乗せを」と言われました。社会福

祉協議会の紹介を受け、別の不動

産屋で諸費用4万円強、家賃月3

万7千円の部屋を契約し、やっと

生活保護申請が受理されました。

なぜ余分なお金を払って部屋を

借りなくてはならないのでしょ

う。制度にあわせるため、暮らし

を不必要に変えるよう指導された

のです。不正受給があるからでし

ょうが、「主人公は誰だ」という視

点を求めるのは甘えでしょうか。